



2022年10月17日

各位

会社名 株式会社マネーフォワード
代表者名 代表取締役社長 CEO 辻 庸介
(コード番号: 3994 東証プライム)
問合せ先 取締役執行役員 CFO 金坂直哉
(TEL. 03-6453-9160)

2022年11月期通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最新の業績動向を踏まえて、2022年1月14日に公表した2022年11月期通期（2021年12月1日～2022年11月30日）の連結業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 2022年11月期通期業績予想数値の修正（2021年12月1日～2022年11月30日）

	売上高	SaaS ARR ※1	EBITDA ※2	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 20,322 ～21,886	百万円 15,718 ～16,841	百万円 —	百万円 —	百万円 —	百万円 —	円 銭 —
今回修正予想 (B)	21,067 ～21,327	15,943 ～16,392	△6,455 ～△5,955	△8,804 ～△8,304	△9,876 ～△9,376	△9,791 ～△9,291	△182.8 ～△173.5
増減額 (B-A)	△559 ～745	△449 ～225	—	—	—	—	—
増減率 (%)	△2.5% ～3.6%	△2.6% ～1.4%	—	—	—	—	—
(参考) 前年同期実績 (2021年11月期 通期)	15,632	11,227	429	△1,062	△1,432	△1,482	△29.97

※1 SaaS ARRは各期末時点におけるBusinessドメイン、Homeドメイン、Xドメイン、Financeドメインの経常的に発生する月間収益を12倍して算出。ただし第1四半期、第2四半期においては、『STREAMED』の季節要因を調整するため、各期の第1四半期、第2四半期における『STREAMED』の課金収入の3分の1を経常的に発生する月間収益として算出。

※2 EBITDA=営業利益+償却費+営業費用に含まれる税金費用+株式報酬費用。

2. 修正の理由

2022年11月期の通期業績見通しにつきましては、Businessドメインを中心に投資対効果及び市場環境を踏まえて、より機動的に投資を実行するため、通期の損益に関して合理的な業績予想の算定が困難であり、これまで非開示としておりましたが、第3四半期までの業績及び最近の業績動向を踏まえて、通期業績見通しを算出いたしましたので、お知らせいたします。

売上高及びSaaS ARRにつきましては、第3四半期まで順調な事業進捗を踏まえ、期初に開示した売上高、SaaS ARRのレンジ内において、レンジ幅を狭める形での修正を行っております。

また、EBITDA、営業損益、経常損益、親会社株主に帰属する当期純損益、1株当たり当期純損益につきましては、継続的な売上高成長率+30～+40%の達成及びSaaS ARRの成長を最優先として、2022年11月期においてはBusinessドメインを中心に人員採用及び広告宣伝などの先行

投資を加速しているため、EBITDA△6,455百万円～△5,955百万円、営業損益△8,804百万円～△8,304百万円、経常損益△9,876百万円～△9,376百万円、親会社株主に帰属する当期純損益△9,791百万円～△9,291百万円の見込みとなりました。

※上記の予想数値は、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の実績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以上